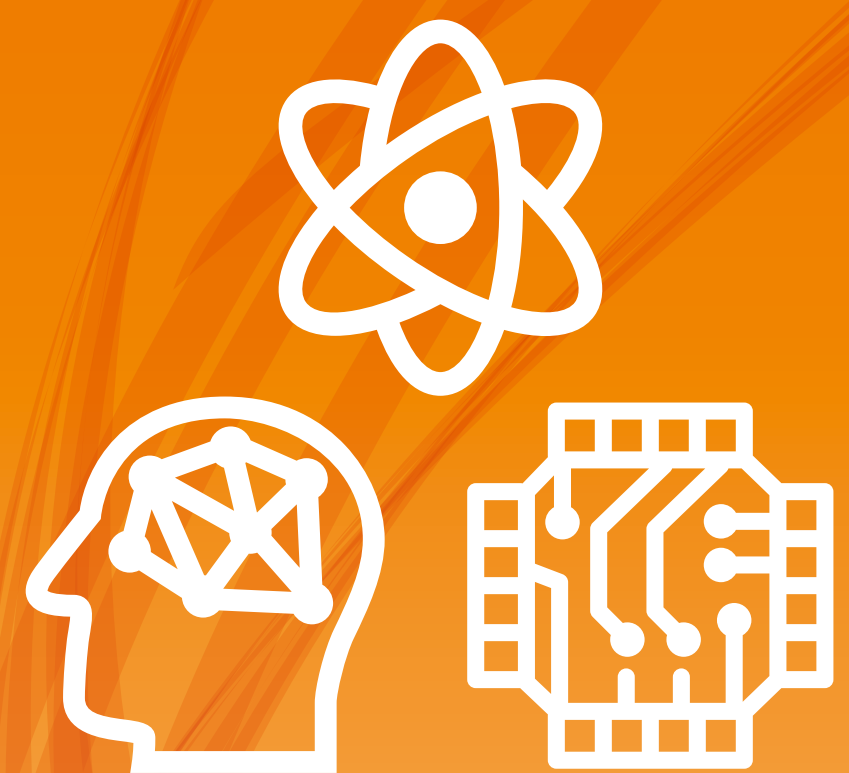




NEDO Challengeで切り拓く — 量子懸賞金事業 —

NEDO Challenge, Quantum Computing "Solve Social Issues" 運営事務局

プロジェクト概要

NEDO 量子懸賞金事業では、研究開発コンテストを中心に、ユースケース創出支援や社会実装の推進、量子人材の育成に取り組んでいます。本展示ではこれまでの成果をご紹介します。2024年、2025年には量子アルゴリズム教育、競争を通じた技術革新、実社会への応用に向けた取り組み等を行いました。また、NEDOが無償提供する計算環境を使用する約80グループが画期的なソリューションを創出するために2026年6月末まで研究開発中です。

展示物紹介

量子懸賞金事業における課題募集

懸賞課題は多数の応募から、Society5.0/QoL/Cool Japanの3領域44以上の社会的インパクトが大きい課題を事務局が選出したものです。

Society 5.0

- ・製造業
- ・ロボット制御
- ・防災
- ・パンデミック
- ・次世代エアモビリティ
- ・物流
- ・ブロックチェーン 等

QoL

- ・医薬品開発
- ・遠伝子解析
- ・訪問介護
- ・個別化栄養管理
- ・教育
- ・記憶のデータ化
- ・人生シミュレーション 等

Cool Japan

- ・チート防止
- ・テーマパーク
- ・VR/AR
- ・エンターテインメント産業
- ・量子占い
- ・音楽生成
- ・マッチング 等

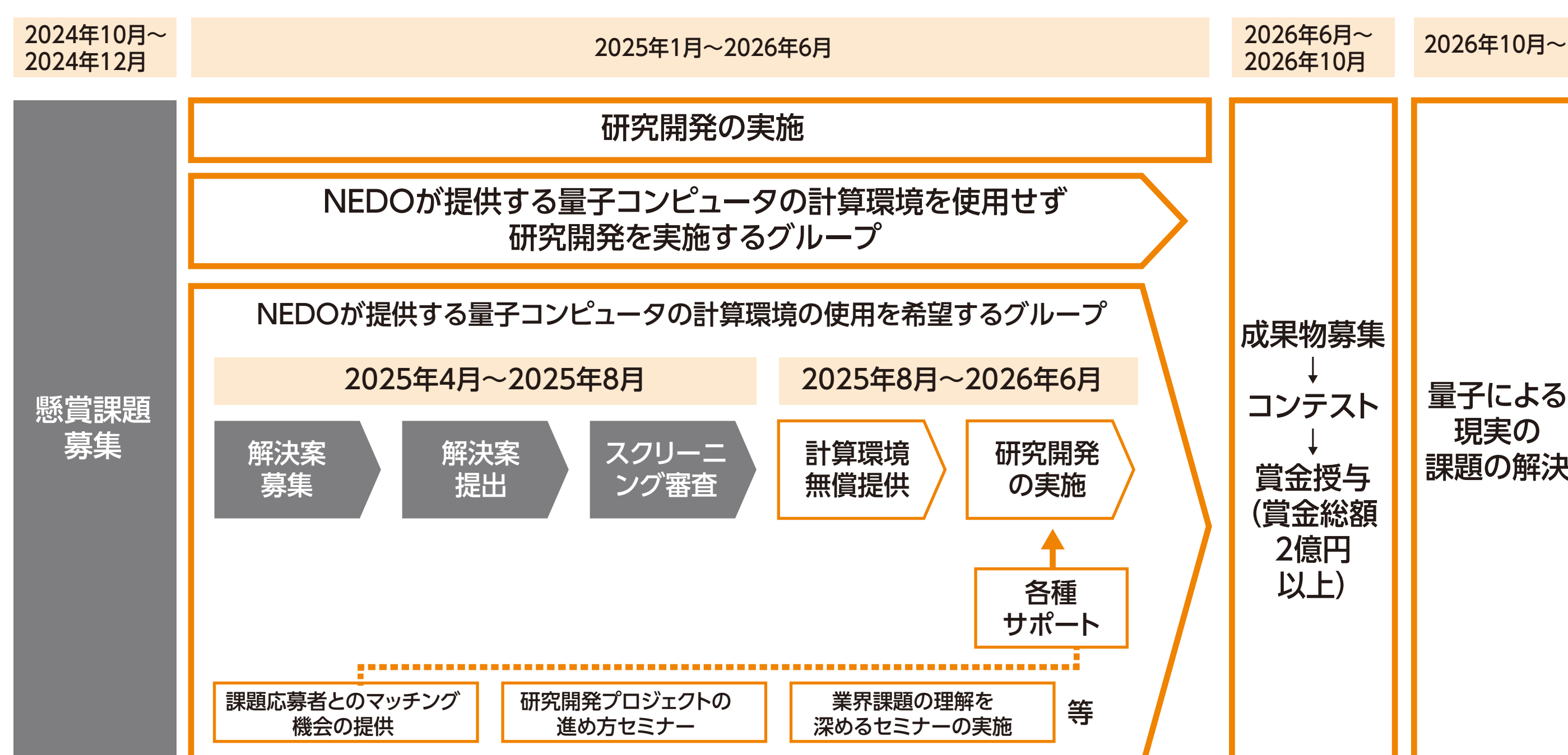
教育プログラム

人材育成を目的に、量子コンピュータの活用方法を学ぶ「教育プログラム」を実施しました。



社会実装イメージ

官民の協力により量子技術のユースケース開発を推進することを目指しています。参加者は総額2億円以上の賞金に向け、技術開発を通じた現実の課題の解決を目指します。また、審査を経て選ばれた優れた解決案を持つ方には、計算環境の無償提供や各種セミナーの開催等を提供し、量子技術の普及と産業競争力の強化を促進しています。



プロジェクト実施期間

2024年度～2026年度

NEDOプロジェクト名

NEDO懸賞金活用型プログラム／量子コンピュータを用いた社会問題ソリューション開発

お問い合わせ先

NEDO Challenge, Quantum Computing "Solve Social Issues" 運営事務局
HP : <https://qc-challenge.nedo.go.jp/> Email : qc-challenge@nedo-challenge.jp

